

株式会社MCJ

2005年度上期決算説明会資料



ご挨拶： 代表取締役 社長兼CEO 高島 勇二

1:財務ハイライト 取締役 CFO 入来院 雄介

2:グループ戦略 上席執行役員 BP本部長 上澤 馨
((株)シネックス 代表取締役 関戸 明夫)

本資料に記載された意見や予測などは資料策定時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2005年11月21日

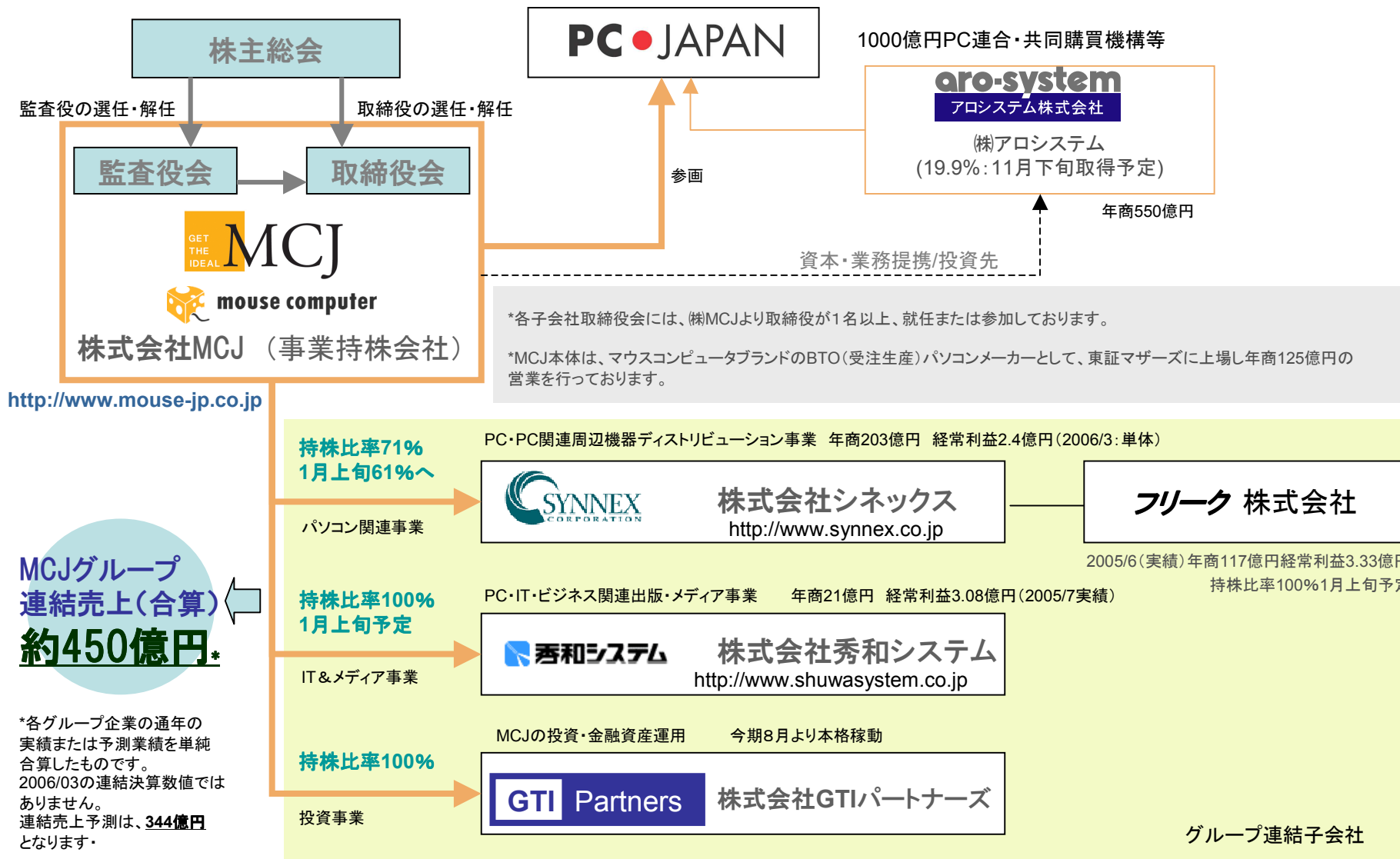




MCJグループの全容(2005/11現在)



グループ企業 : MCJグループは、コンピュータ事業(BTO:受注生産)を中心とした事業持ち株式会社・各企業等により構成されている総合ITグループです。「PC関連事業」・「IT&メディア事業」・「投資事業」を主要テーマに、各企業がそれぞれの専門性を発揮した事業展開をしながらグループにて一貫した連邦制の理念のもと総合力を結集し前進しております。





Part 1: 財務ハイライト(連結)

トピックス#1,#2

Part 2: グループ戦略 (MCJ NEXT STAGE)



1. 株式会社シネックスとの合算により企業規模が拡大
(中間決算(連結)過去最高業績を達成)

▶ 連結売上135億円(対前年同期比261.4%)
連結経常利益3.2億円(対前年同期比106.6%)

2. 投資事業の本格運営開始
(2005年8月より)
(GTIパートナーズによる純投資事業が順調に進展)

▶ 売上68百万円
経常利益12百万円

3. 円安等外部環境の変化による、粗利率の低下

▶ 売上高の対前年同期比率261.4%に対し
売上総利益の同比率は188.5%

4. 今後のグループ拡大に備えた初期投資負担の増加
(積極的なM&A、出資および新規事業提携等のグループ強化への投資)

▶ 販管費の対前年同期比率は242.4%



中間決算概要および通期見通し

Part 1: 財務ハイライト(連結)



中間決算(連結)過去最高業績を達成

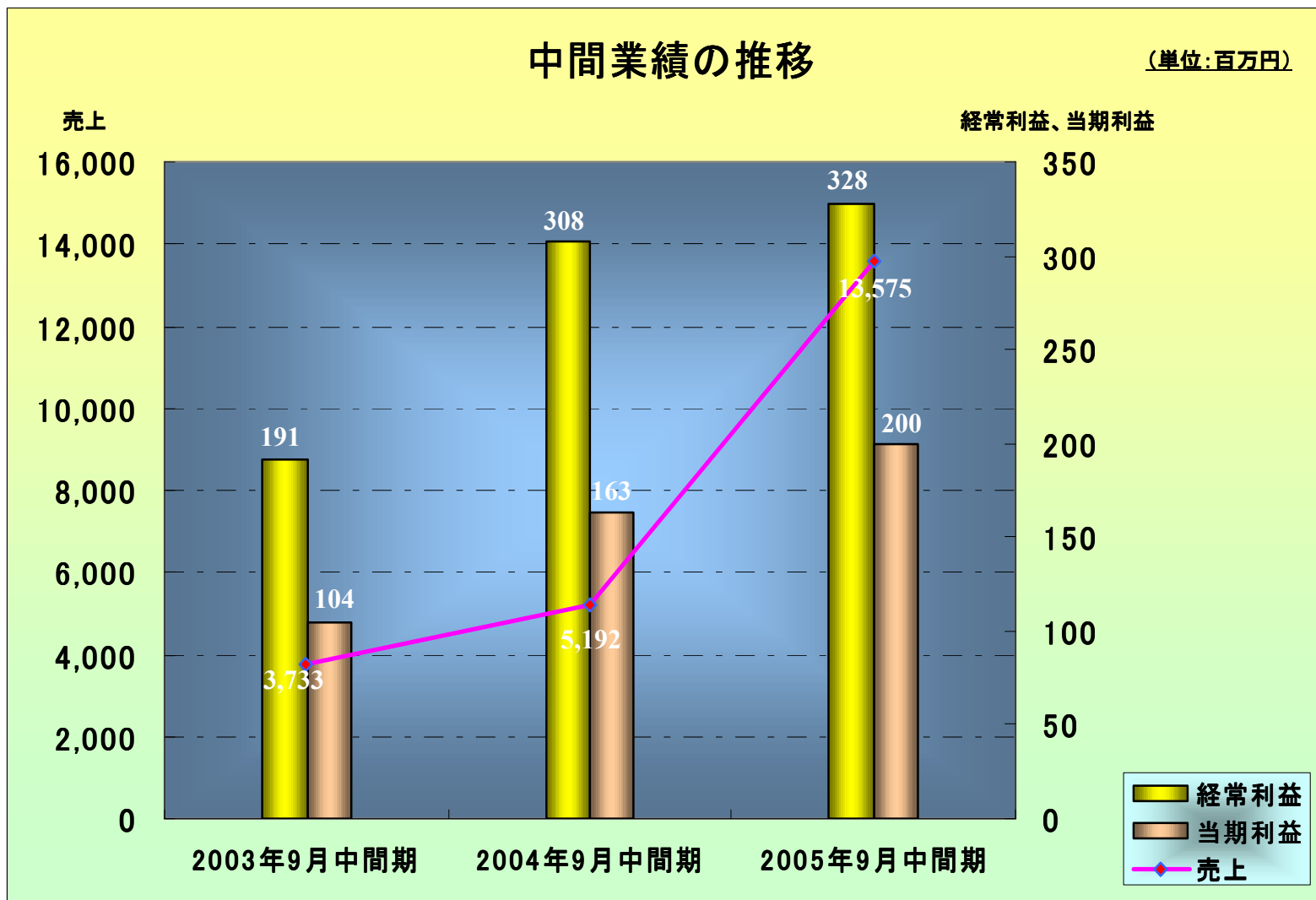
(単位:百万円)

	①2004年9月中間期 (MCJ単体)	②2005年9月中間期 (連結)	前年同期比 (②÷①)
売上高	5,192	13,575	<u>261.4%</u>
売上総利益	877	1,655	<u>188.5%</u>
売上総利益率	16.9%	12.2%	
営業利益	356	390	<u>109.7%</u>
営業利益率	6.9%	2.9%	
経常利益	308	328	<u>106.6%</u>
経常利益率	5.9%	2.4%	
当期利益	163	200	<u>123.1%</u>
当期利益率	3.1%	1.5%	

※ 連結対象会社はMCJ、シネックス及びGTIパートナーズ
 ※ 連結調整勘定の償却額51百万円を吸収して増収増益を達成
 ※ 連結調整勘定を除くと経常利益は前年同期比123.0%となる。



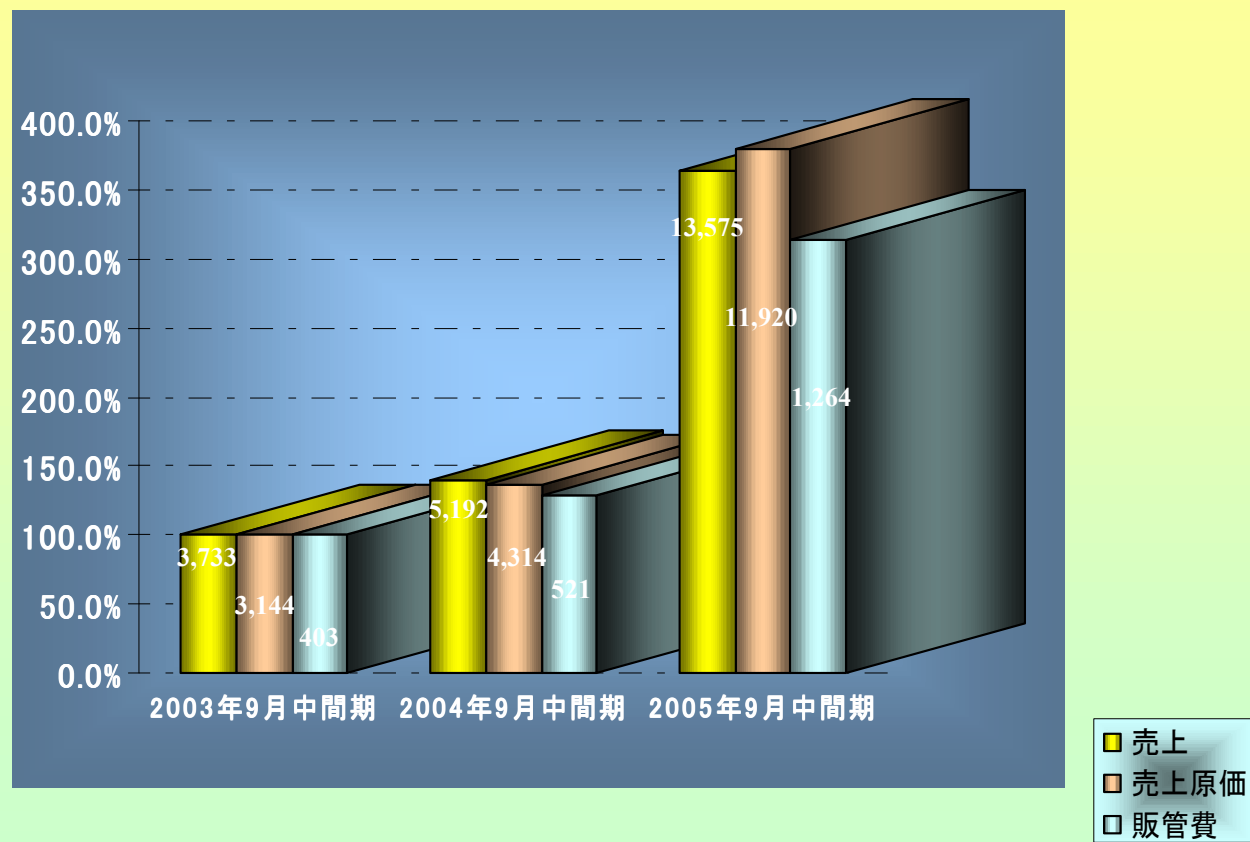
中間業績の推移(2003年9月中間期～2005年9月中間期)





売上及び経費成長率(2003年9月中間期を基準値とする)

売上、売上原価、販管費成長率



原価上昇の主因

- ・ 円安による原材料価格の上昇
- ・ 原油高に伴う仕入運賃の上昇
- ・ 卸売業であるシネックスの影響



セグメント別実績ハイライト

2005年9月中間期セグメント別実績

	売上		経常利益		当期利益		
	実績	昨対比	実績	昨対比	実績	昨対比	
PC関連事業	15,261	293.9%	359	116.6%	195	119.6%	株式会社MCJ及び 株式会社シネックス
IT&メディア事業							
投資事業	68	-	12	-	-1	-	GTIパートナーズ
単純合算	15,329		372		194		
連結調整	-1,754		-44		6		
連結業績	13,575	261.4%	328	106.6%	200	123.1%	

グループ内セグメント内訳

事業部名	事業内容	対象会社	
		今中間期	今期通期
パソコン関連事業	パソコンおよび周辺機器の製造、販売 IT関連サービス及び出版業 投資ファンド運営を含む各種投資業	MCJ、シネックス	MCJ、シネックス、フリーク
IT&メディア事業			秀和システム
投資事業		GTIパートナーズ	GTIパートナーズ

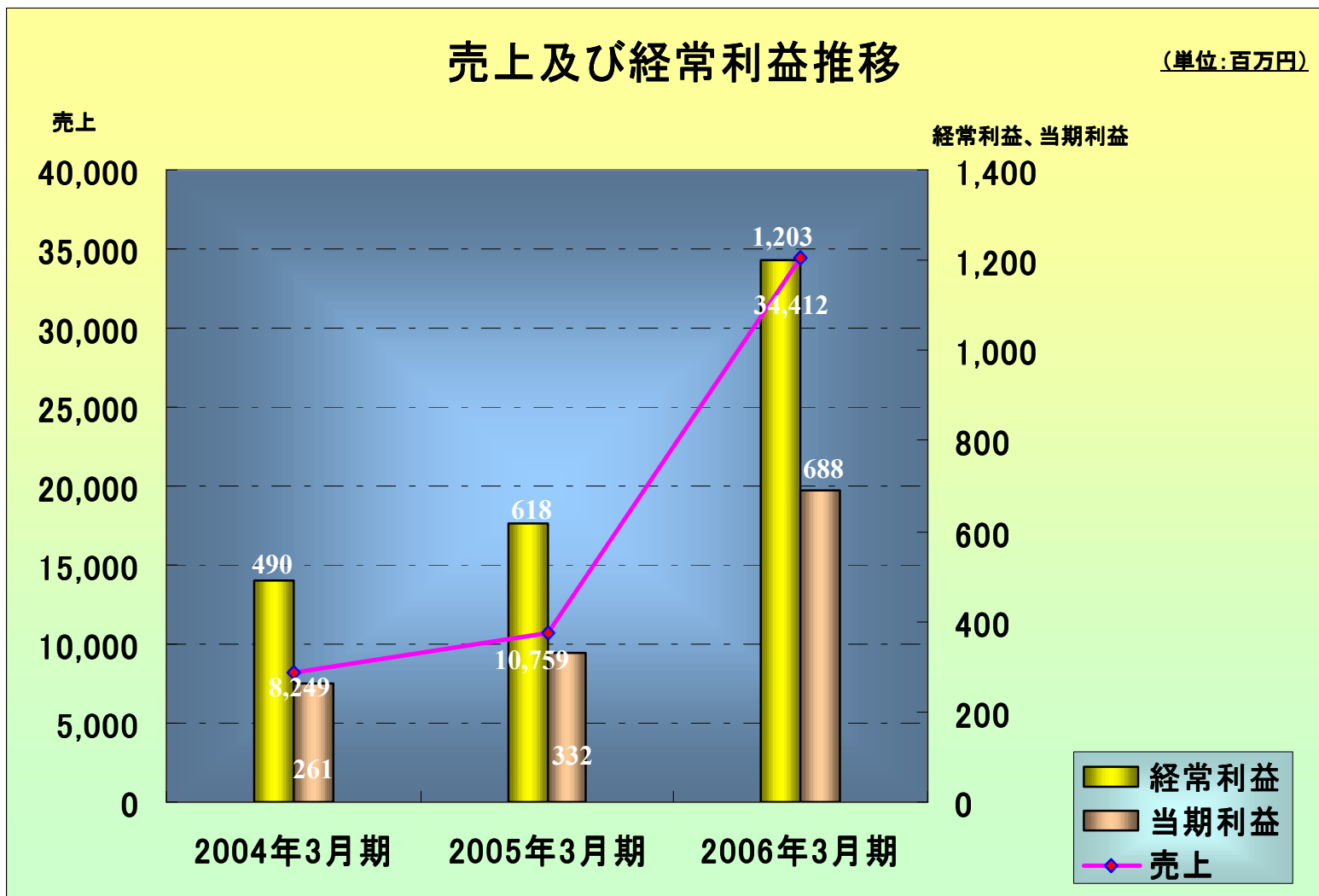


コスト内訳(前年同期比)

	(単位: 千円)		
	①2004年9月中間期 (MCJ単体)	②2005年9月中間期 (連結)	前年同期比 (②÷①)
売上原価	4,314,963	11,920,163	276.3%
人件費	224,721	513,846	228.7%
地代家賃	17,346	32,401	186.8%
減価償却費	3,491	7,954	227.8%
広告宣伝費	105,512	147,848	140.1%
運賃	65,493	152,898	233.5%
連結調整勘定償却	-	51,430	-
その他販管費	105,111	357,951	340.5%
販管費合計	521,676	1,264,332	242.4%

経費上昇の主因

- ・売上原価の上昇(要因は前述の通り)
- ・人件費は下期より集中するM&A等今後のグループ拡大に備えた初期人材投資も重なり上昇
- ・運賃は卸売業を営むシネックスが加わった事、及び原油価格上昇による運賃単価の上昇により大幅に増加





○株式会社秀和システム2005年7月期実績及びフリーク株式会社2005年6月期実績

		(単位:百万円)	
	株式会社秀和システム 2005年7月期実績	フリーク株式会社 2005年6月期実績	
売上高	2,128	11,730	
売上総利益	869	826	
<u>売上総利益率</u>	40.8%	7.0%	
営業利益	304	322	
<u>営業利益率</u>	14.3%	2.7%	
経常利益	308	333	
<u>経常利益率</u>	14.5%	2.8%	
当期利益	200	210	
<u>当期利益率</u>	9.4%	1.8%	

※ 秀和システム、フリーク共に2006年3月にて3月期決算へ決算期変更を行う予定



トピックス#1



livedoor Blog × **mouse computer** <http://blog.livedoor.com/category-125.html>

株式会社ライブドアとの業務提携により、日本初のブログとPC関連ニュースのアフェリエイトタイプのコラボモデルを展開。

このビジネスモデルは総務省より2005年9月末現在の開設数が473万人あると発表された国内ブログ市場は、今後更なる普及とサービスの拡大が予想されています。

これらのブログサービスの中でも、国内最大級の90万人の登録があるlivedoor Blog内における「コンピュータ/インターネット」カテゴリに、MCJのコンピュータ関連の記事やニュースを組み合わせて掲載。ブログ+ニュースの新しい媒体を構築し、MCJが冠企業となることで、当社ホームページへのアクセス数と販売の向上を目的としております。

この販売モデルはすべてアフェリエイトリンク経由となり、ブログ+ニュースコンテンツ利用したECサイトとしては初の試みとなります。

MCJのWEB販売ページは、800万PV/月のアクセスを誇るサイトですが、今回のコラボレーションにより倍の1600万PVを狙います。





トピックス#2



<http://www.turbolinux.co.jp/index.html>

株式会社ターボリナックスとの業務提携により、日本初のWindows互換ソフト搭載“Turbo Linux FUJI”をプリインストールしたモデルを発売。

今回プリインストールされるLinux OS「Turbolinux FUJI」は、従来の「Turbolinux Desktop」製品のメリットである日本語環境の完成度、バンドルソフトの実用性の高さはそのままに、新たにWindowsアプリケーションとの互換性を実現し、Linuxデスクトップ環境の利便性を大きく高めるものとして注目されています。

また、このモデルの発売に際し、MCJとターボリナックスの両社は、製品の開発・検証、サポート体制の構築において協業を行いました。コストパフォーマンス、安定性、利便性、サポート体制において、今回の2モデルが、Linuxプリインストールパソコンに新たな可能性をもたらすものと確信しております。



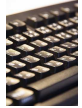
搭載モデル



<http://www.shuwasystem.co.jp/>

株式取得および株式交換による株式会社秀和システムの完全子会社化

秀和システムは、1981年の創業以来「解析マニュアルシリーズ、はじめてのシリーズ、パーフェクトマスターシリーズ」などの初級から上級ユーザーまで幅広い読者層に向けた信頼性の高い専門書や、最新のPC技術動向をいち早く反映した解説書等の1,000点を越す書籍群を刊行し、激しい技術革新の時代に、ユーザーに明確な羅針盤を提供してきております。MCJが秀和システムの株式を100%取得することにより、秀和システムはMCJグループにおけるメディア戦略の中核としての役割を担います。また、MCJが秀和システムを完全子会社化することにより、両社事業に多くの相乗効果が発生すると考えられます。



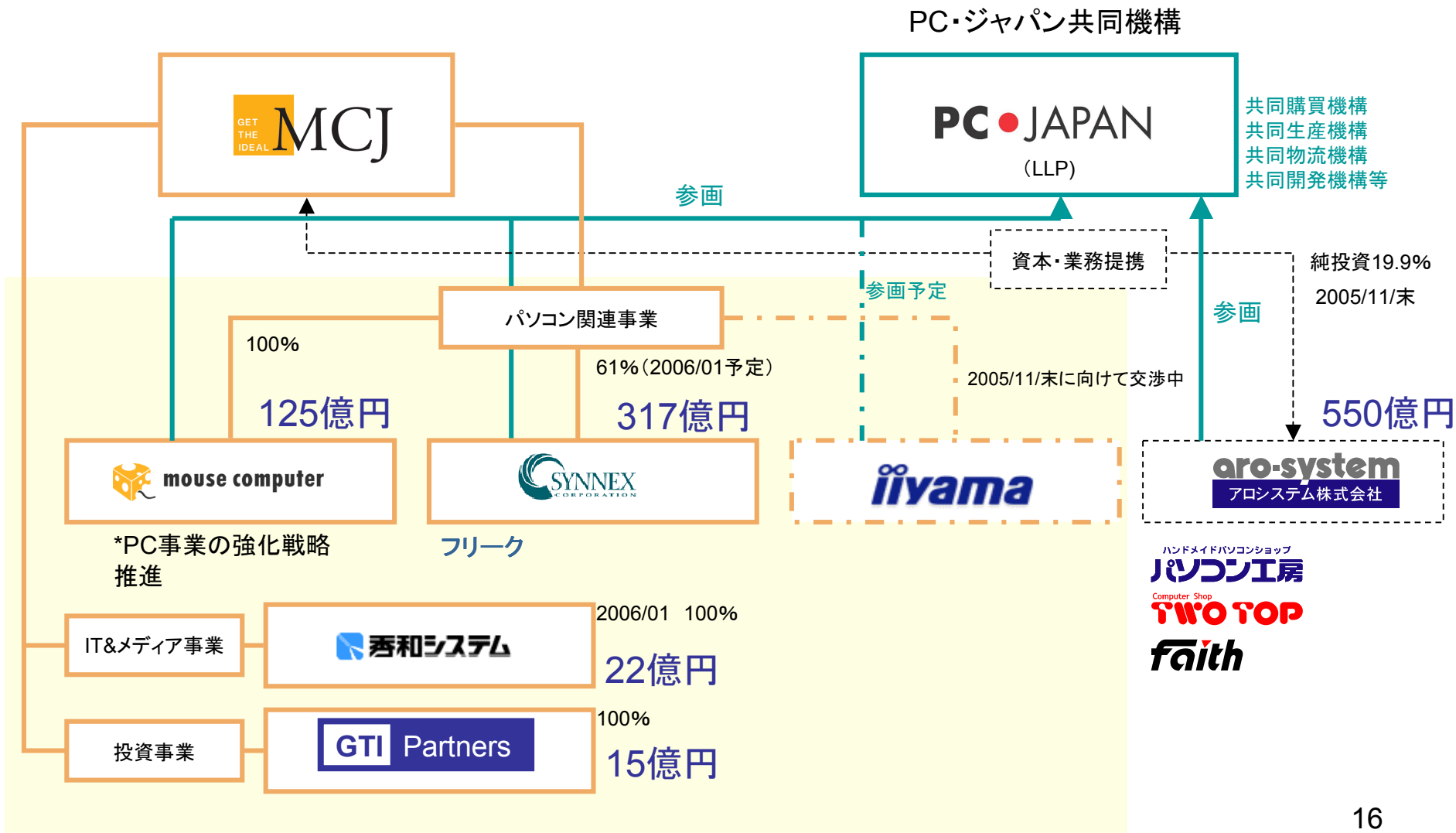
MCJ NEXT STAGE

Part 2: グループ戦略

“ITコングロマリット企業を目指して”



事業持株会社 ⇨ 純粋持株会社へ





株式会社シネックス

<http://www.synnex.co.jp>



【第9期】 自 平成14年12月 1日 至 平成15年11月30日	【第10期】 自 平成15年12月 1日 至 平成16年11月30日	【第11期】※ 自 平成16年12月 1日 至 平成17年 3月31日
21,213,988	17,710,696	5,576,298

(単位: 千円)

※ 平成17年3月25日開催の株主総会において定款の変更を行い、平成17年度より当社の営業年度を毎年4月1日から翌年3月31日までに変更致しました。これに伴い、第11期は平成16年12月1日から平成17年3月31日までの4ヶ月間の変則決算となります。

株式会社シネックスは、米国Synnex Corporation (NY上場、年商5500億円、コード:SNX)の日本法人として設立され、PCおよびPC関連製品のマルチディストリビュータとして成長してまいりました。本年4/22にMCJの関連子会社として新たなステージを開始いたしました。11月には、フリーク株式会社(年商114億円、経常利益4.0億円)とのM&A(株式交換)の契約を締結し、**2005年3月期基準で新興市場への上場**を目指しております。

MCJグループにおけるシネックス社のポジションは、PCおよびPC関連事業のマルチディストリビュータおよびロジスティックの分野の中核として、MCJが主幹事として構築した**PC・JAPAN(共同機構)**の共同購買機構および共同生産機構を担ってまいります。

第12期(自平成17年4月1日～至平成18年3月31日)

売上計画 233億円 経常利益3.46億円

Maxtor®

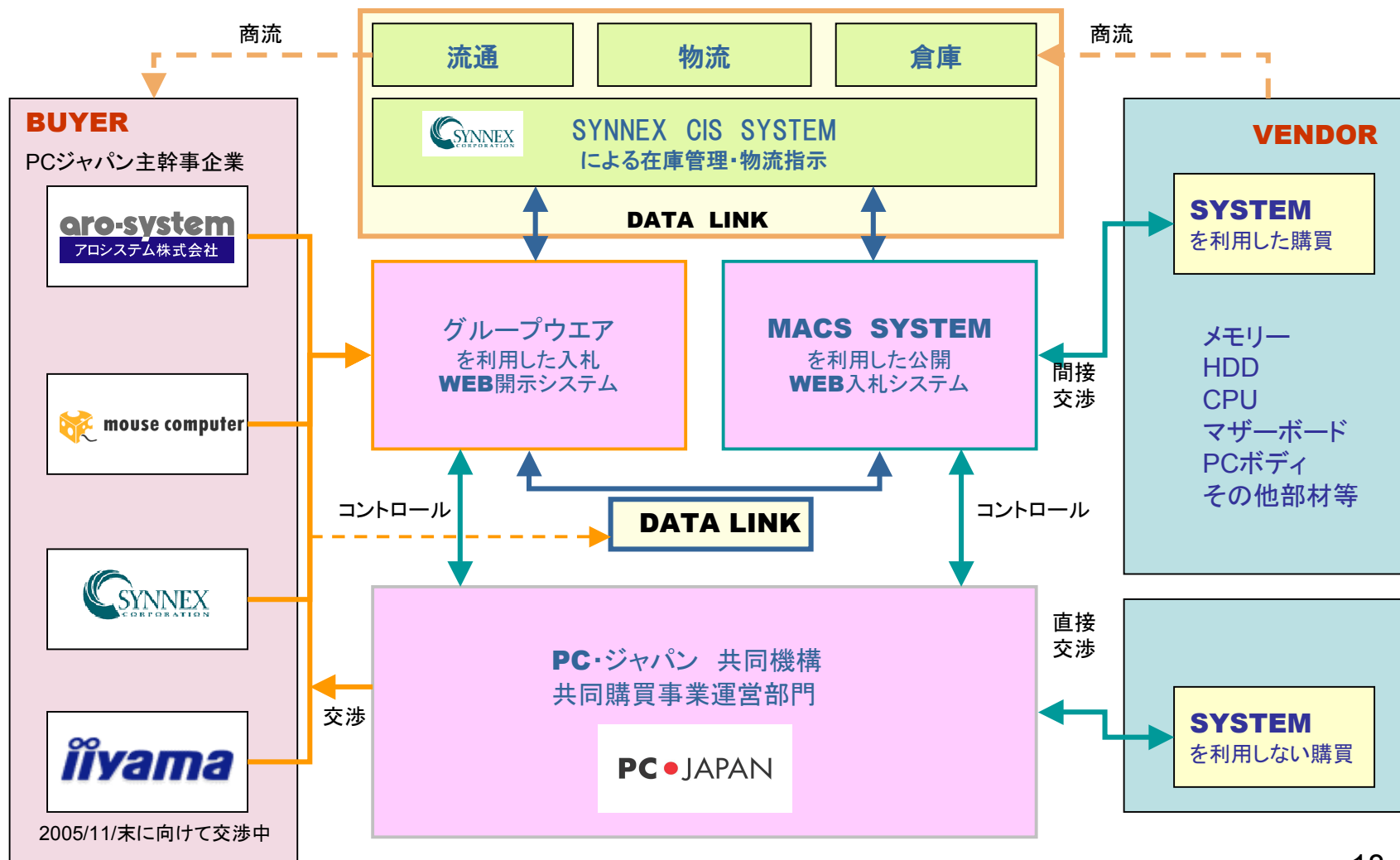
BELKIN.

acer TravelMate C100
Tablet PC

Quantum®

intel.

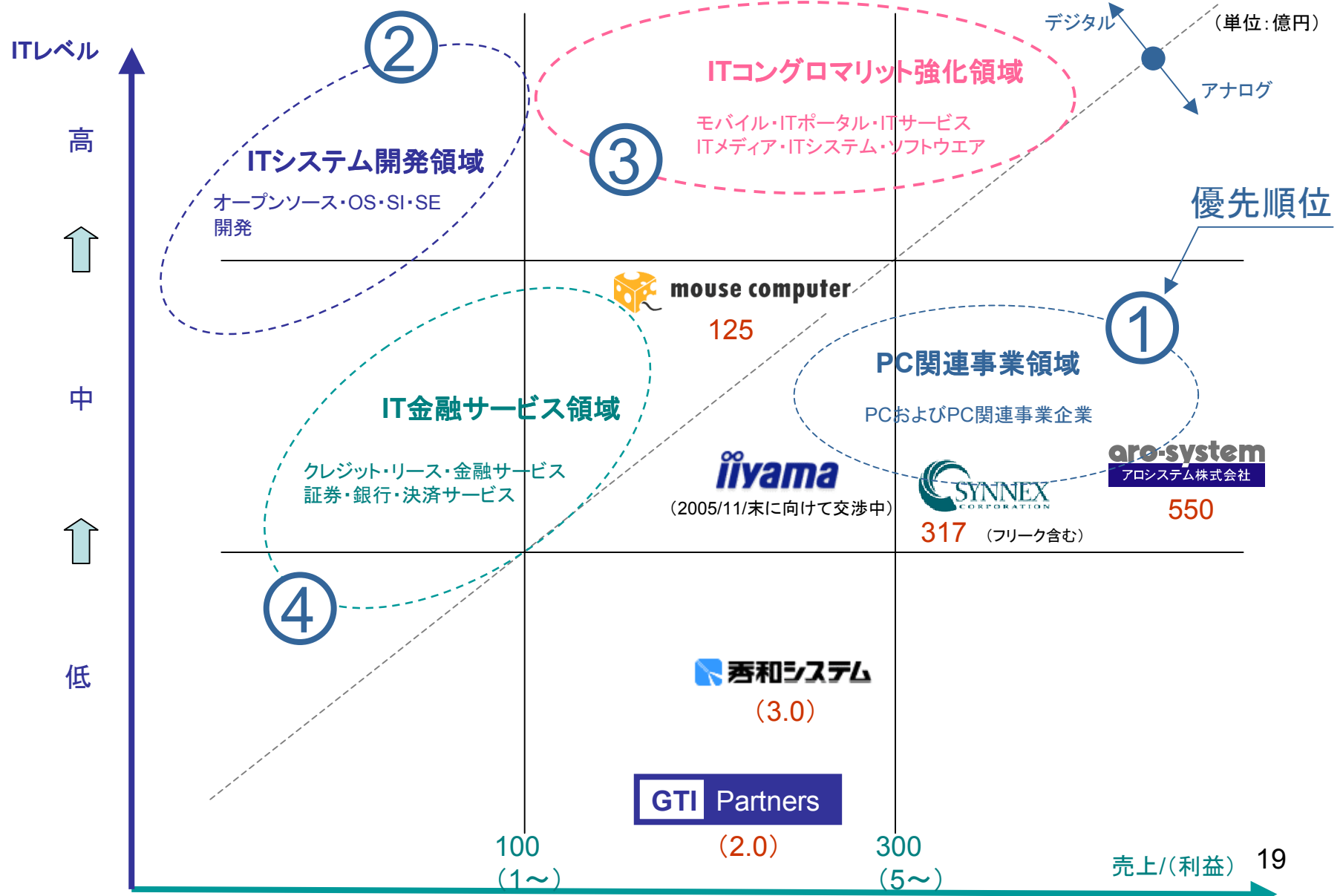
Microsoft



1230億円規模の購買力および販売力



MCJグループ・M&Aポートフォリオ(今後の拡大領域)





グループ戦略(3D拡大戦略) “ITコングロマリット企業を目指して”

グループの企業価値を三次元的な拡大にて計画して行きます。PC関連事業とIT&メディア事業が相乗効果を持つことにより、グループ全体の成長に加速度がつきます。MCJは、純粋持株会社化により投資事業の効率を上げ、間接コスト削減等の利益拡大にも貢献して参ります。

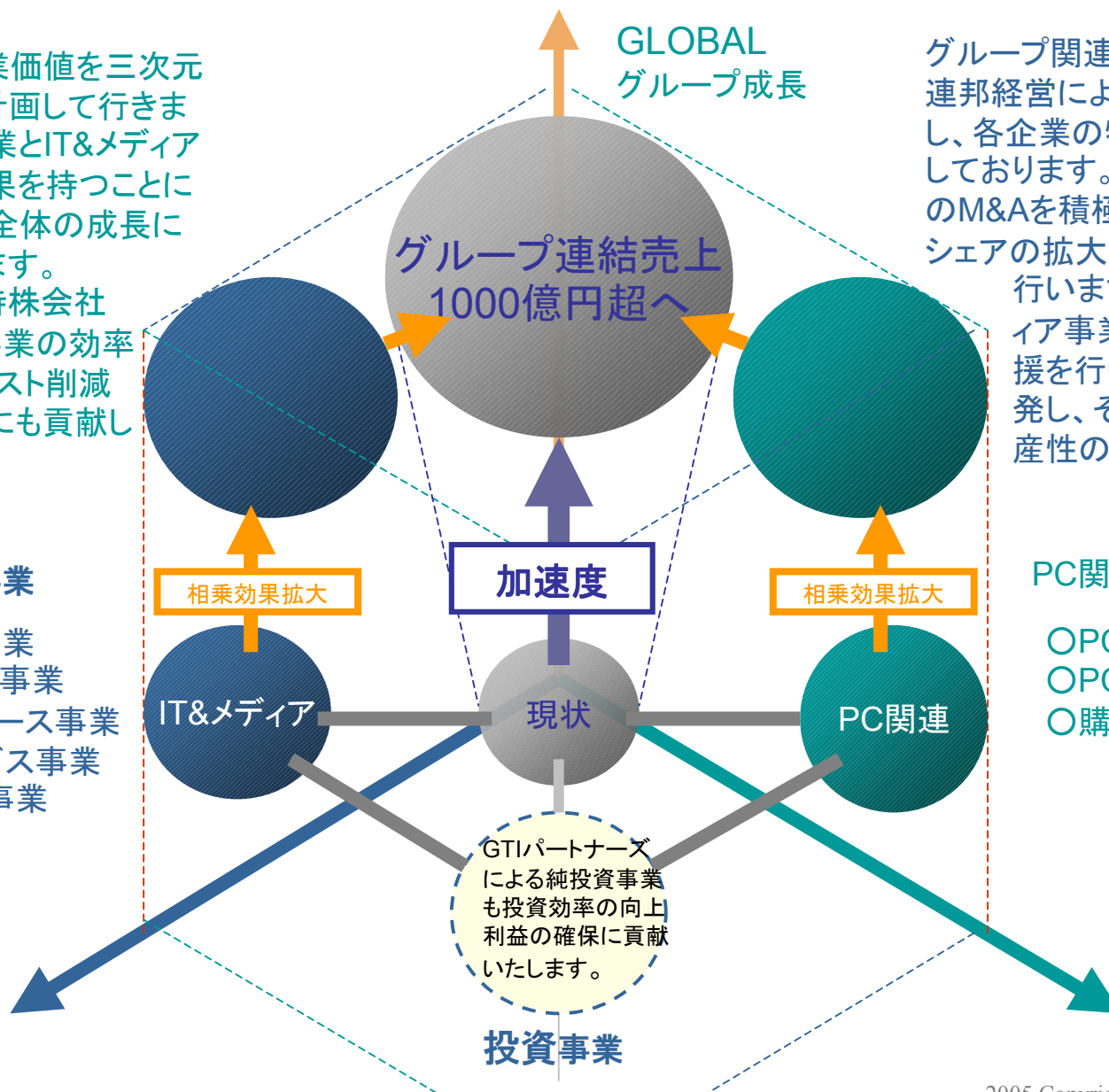
グループ関連企業については、連邦経営による独立性を重視し、各企業の特徴を最大限生かしております。特にPC関連企業のM&Aを積極的に行い、業界シェアの拡大と総合力の強化を行います。また、IT&メディア事業は、側面的に支援を行い、相乗効果を誘発し、それぞれの事業生産性の効率化を行います。

IT&メディア事業

- モバイル事業
- ITサービス事業
- オープンソース事業
- 金融サービス事業
- ITメディア事業

PC関連事業

- PC関連事業のM&A
- PC・JAPANの拡大
- 購買・生産効率の向上



ありがとうございました。

<http://www.mouse-jp.co.jp>

財務情報やIRイベント等の情報は、弊社ホームページに掲載しております。

財務情報：<http://www.mouse-jp.co.jp/company/ir/index.html>

広報/IR問い合わせは：press@mouse-jp.co.jp

本資料に記載された意見や予測などは資料策定時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。